



未来へ向かって
価値ある挑戦を!

お茶大発 総合型選抜(新フンボルト入試)

本総合型選抜(新フンボルト入試)は論理的思考力、探究力、コミュニケーション能力、独創性など、従来型のペーパーテストでは測定しにくい種類の能力や、これまでの活動や学習の成果も含めて受験者の潜在的な力(ポテンシャル)を丁寧に見極めるユニークな入試です。

文系学科志願者は「プレゼミナール」で大学の授業をじかに体験し、レポートなどによって第1次選考を行います。(理系学科志願者にはプレゼミナールは必須とせず、出願書類にて第1次選考を行います。)続く第2次選考は、文系では「図書館入試」、理系では「実験室入試」により、単なる知識量の多寡ではなく、その知識をいかに「応用」できるかを問います。この風変わりな、しかし受験することで「何かを得られる」入試に是非トライして欲しいと願っています。

主な入試日程

プレゼミナール	9月28日(土) ※文系学科志願者 第1次選考
図書館入試	10月19日(土)・20日(日) ※文系学科志願者 第2次選考
実験室入試	11月30日(土) ※理系学科志願者 第2次選考

詳細はWEBでチェック!



総合型選抜
(新フンボルト入試)



プレゼミナール
2024



お茶の水女子大学ホームページもご覧ください
<https://www.ocha.ac.jp>

総合型選抜入学者の声

～新フンボルト入試を受験して～

- 自分のポテンシャルを活かして大学入試に挑戦することができた。
- プレゼминаールと新フンボルト入試を通し、お茶大の授業の雰囲気や学科の先生方の専門性についてよく知ることができた。
- 面接審査の際に先生からいただいた質問から、将来に対する自らの考えにおいて見落としていた視点に気づいた。そのため、自身の将来を見つめ直すきっかけになった。
- 受験によって入学後の学業についてイメージしやすくなった。また、早期に合格が決まったことで予習に取り組むなどして余裕を持ちつつ入学前準備を進めることができた。

～入学後に活かせること～

- 実験室入試は、自分の考えを相手に伝えることや提示されたことを鵜呑みにせずクリティカルに考えるといった態度に活きていると思う。
- 自分のやりたいことに向き合ったうえで研究や実験の計画を立案することを入試を通して学んだ。何をしたいかがある程度定められたので、卒業後のことを考えながら日々大学生活を送ることができている。
- 受験を通して、受験者同士の繋がりや先輩との繋がりが持てた。授業だけでなく、ゼミや大学院進学などの相談に乗ってくださる先輩がいるというのはとても心強い。

オープンキャンパス開催！

7月13日(土)・14日(日)・15日(祝)に、オープンキャンパスを開催します。オープンキャンパスでは、新フンボルト入試説明会や新フンボルト入試合格者の在学生たちによる座談会を実施します。



先輩たちから、新フンボルト入試合格の秘訣や入試体験談を直接聞ける貴重な機会です。ぜひお茶大へお越しください！



座談会で
先輩の話を
きいてみよう！



オープンキャンパス情報を
WEBでチェック！



本入試の詳細は、**必ず入学者選抜要項・学生募集要項**で確認してください。募集要項に変更などがある場合は、大学ホームページ(<https://www.ocha.ac.jp>)で随時公表します。

お問い合わせ
お茶の水女子大学入試課
MAIL nyushi@cc.ocha.ac.jp TEL 03-5978-5151